

若年性認知症のある方と語ろう ～届け、ヤングケアラーへの支援～

認知症は高齢者の病気だと思いませんか。

その誤った認識から、早期発見につながらず悩んだり苦しんだりしている方があなたの身近にもいるかもしれません。

また、最近よく耳にする「ヤングケアラー」ですが、若年性認知症とも大きく関わりのあることです。

「若年性認知症」と「ヤングケアラー」について、一緒に学んでみませんか。

令和4年度若年性認知症社会参加支援モデル事業

日時：令和4年10月12日（水）

13時半から15時まで

場所：愛知県立大学 長久手キャンパス S201 講義室

【アクセス】東部丘陵線（リニモ）「愛・地球博記念公園」駅下車徒歩5分

定員：市民（一般）50名

愛知県立大学の学生・教職員 50名

※いずれも事前申し込み制

参加お申込み：

受付締切 10月10日（月）

愛知県立大学地域連携センターHPから申込できます。

以下 URL か左記の QR コードからアクセスして、
申込フォームに必要事項をご入力ください。

<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/regionalalliances/0012038.html>



※インターネットがご利用できない方は、電話か FAX でお申込みください。

TEL：0561-76-8843 FAX：0561-64-1104

（愛知県立大学 研究支援・地域連携課）

共催：愛知県立大学・長久手市・社会福祉法人 百千鳥福祉会

主管：社会福祉法人 長久手市社会福祉協議会

後援：愛知県

長久手市
NAGAKUTE CITY



愛知県立大学
Aichi Prefectural University

～若年性認知症とは？～

若年性認知症は、65歳未満で発症する認知症です。働き盛りの世代で発症し、ちょうど大学生の親世代とも重なります。認知症の代表的な症状とされる記憶障害が出現しやすく、手順を踏んだ作業が難しくなることから、日常生活や仕事で支障が出る場面が出てきます。

～ヤングケアラーとは？～

本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことです。

■□■プログラム■□■

13：30-13：35 あいさつ

13：35-14：20

一部 「認知症と共に生きる」

講師 近藤 葉子 氏(愛知県認知症希望大使)

14：20-14：50

二部 「若年性認知症とヤングケアラーについて」

講師 竹田 晴幸 氏(社会福祉法人百千鳥福祉会 理事長)

14：50-14：55 質疑応答

14：55-15：00 まとめ

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、講座開催時期の延期や内容変更等が生じる可能性がありますので、ご了承ください。

愛知県認知症希望大使

紹介

近藤 葉子 氏



愛知県希望大使とは・・・認知症の正しい理解を深めるため、2021年7月に愛知県が委嘱したものです。

『認知症は怖くない、ということを伝えたいです。』

認知症になっても私はわたしだから。』と語る葉子さんは、51歳の時、若年性アルツハイマー型認知症と診断され、現在は認知症カフェのボランティア活動、認知症サポーターを中心とする交流会への参加のほか、劇団に所属されるなど多方面で活躍されています。

会場：愛知県立大学 長久手キャンパス

S201 講義室

住所：長久手市茨ヶ廻間1522-3

電話：0561-76-8843

アクセス：東部丘陵線（リニモ）

「愛・地球博記念公園」駅下車徒歩5分

